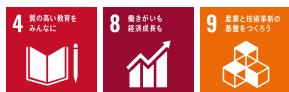


## □要請番号 (JL04525A19)



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モンゴル	G202 電子工学	20~45 歳のみ	個別	新規	2年	・2025/3・2026/1・2026/2

### 【配属機関概要】

#### 1) 受入省庁名（日本語）

教育省

#### 2) 配属機関名（日本語）

モンゴル国立生命科学大学ダルハンオール県分校

#### 3) 任地（ダルハンオール県ダルハン）JICA事務所の所在地（ウランバートル市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで約4.0時間）

#### 4) 配属機関の規模・事業内容

国立生命科学大学は首都ウランバートル市に本校があるほか、ダルハンオール県とバヤンホンゴル県に分校がある。配属先はそのダルハンオール県の分校で1969年に設立。アグロエコロジービジネス学部、植物農業研究所、科学博物館等から構成されており、学士、修士、博士の課程がある。総職員数は約200名で、うち教員数は約90名、学生数は約700名(学士約600名)で、年間予算は約1.2億円。過去3名の隊員(経営管理、観光、経済・市場調査)を受入れた経験がある。その他、KOICA、米国ピース Corpsからのボランティアを受入れた経験もある。配属先からは本件のほか日本語教育、機械工学の協力隊要請も提出されている。

### 【要請概要】

#### 1) 要請理由・背景

配属先では、モンゴルで不足している技術者を若い年代から育成し、今後の産業分野の発展に寄与する人材の輩出を目的として、2023年から日本の高専機構と連携した高専プログラムを実施している。ITエンジニア、機械工学、電子工学、環境工学の各専門教科コースのほか、一般科目として日本語のクラスもあり、配属先への入学希望者は多い。しかしながら、現状、授業の質の確保が十分にできていないと配属先も認識しており、協力隊を受入れて、学生の専門的知識と技能習得を促進する効果的な指導内容・指導方法に関するサポートを得られることを期待している。

#### 2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

- 1.電子工学の授業のサポート
- 2.実習及び研修へのサポート
- 3.学習意欲を高めるカリキュラム・指導法に対するアイデアの提供と実施に向けたサポート
- 4.日本の高等専門学校の管理運営、技術指導等の紹介

※教師3名が週計5コマ(1コマ90分)ずつを担当している。

※担当するクラスや授業コマ数は赴任後、配属先と隊員間で話し合い決定する。

#### 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

教員室、教室、デスク、椅子、プリンター、共用キャビネット

#### 4) 配属先同僚及び活動対象者

校長(50代、博士、男性、教育分野における経験27年)

カウンターパート:教師3名(40代~50代、男性2名、女性1名、教育分野における経験18年~22年)

活動対象者:高専電子工学プログラム学生 約30名

**5) 活動使用言語**

モンゴル語

**6) 生活使用言語**

モンゴル語

**7) 選考指定言語**

英語(レベル:C)

**【資格条件等】**

[免許] : ( )

[学歴] : (高等専門学校卒) 備考 : 高等教育機関での活動

[性別] : ( ) 備考 :

[経験] : ( ) 備考 :

[参考情報] :

- ・学校等での指導経験があるとよい
- ・電子工学系の業務/企業経験があると尚よい

**任地での乗物利用の必要性**

不要

**【地域概況】**

[気候] : (ステップ気候) 気温 : (-30~30°C位)

[電気] : (安定)

[通信] : (インターネット可 電話可)

[水道] : (安定)

**【特記事項】**

- ・11月から3月にかけて、平均気温は氷点下となり寒さが厳しい
- ・配属先からは本件のほか日本語教育、機械工学の隊員要請も提出されており、派遣のタイミングによっては同時期に活動することとなる。